



■新潟市体育館
新潟市中央区一番堀通町 3-1
新潟駅万代口(北口)
バスターミナルより
系統番号 7/7A
中央循環川岸町經由県庁行き
競技場前下車徒歩 7分
越後線白山駅 下車徒歩 12分

■新潟青陵大学
新潟市中央区水道町 1-5939
新潟駅万代口(北口)
バスターミナル 11番
新潟青陵大学・水族館前行き
新潟青陵大学前下車
越後線白山駅 下車徒歩 25分

参加費

- 集会参加費：2,000円(学生・障がい者 1,000円) 両日通し(どちらか1日でも同額)
 - 宿泊費：7,350円(税込・朝食付)
 - 2日目昼食代：1,000円
 - 交流会参加費：3,000円
 - 申込み締め切り：11月5日(水)
- 実行委員会新潟事務局
TEL：025-378-6806/FAX：025-230-6680
- 実行委員会東京事務局(日本労働者協同組合連合会内)
TEL：03-6907-8040/FAX：03-6907-8041
- 申込み締め切り：11月5日(水)
- は下記までご連絡下さい。参加申込書の記入が必要です。

主催：いま「協同」を拓く2008全国集会in新潟 実行委員会

〈 実行委員会代表委員(50音順) 〉

黒岩卓夫(ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 理事長) / 笹森 清(労働者福祉中央協議会・協同労働法制化市民会議 会長) / 古谷直道(日本労働者協同組合連合会 理事長)

〈 実行委員会団体 〉

日本労働者協同組合連合会 / 協同総合研究所 / 労協センター事業団 / 特定非営利活動法人ワーカーズコープ / 日本高齢者生活協同組合連合会 / ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 / 社会連帯委員会 / 新潟県生活協同組合連合会 / 新潟県総合生活協同組合 / CC福祉会 / 新潟 NPO 協会 / パワフル・エイジング研究会 / 新潟労働者福祉協議会 / うちの実家 / 連合新潟 / 特定非営利活動法人青りんごの会 / 協同組合米ワールド 21 普及協議会 / 新潟県労働金庫 / 新潟県自然・環境保全連絡協議会 / 反貧困全国キャラバン 2008 新潟集会実行委員会 / ドリームハウス / 新潟コミュニティバンク

〈 協賛団体 〉

J A 新潟中央会

〈 後援 〉

新潟県 / 新潟市 / 胎内市 / 南魚沼市 / 十日町市 / 魚沼市 / 燕市 / 阿賀野市 / 小千谷市 / 五泉市 / 関川村 / 糸魚川市 / 三条市 / 新潟県社会福祉協議会 / 新潟市社会福祉協議会 / 新潟日報社 / 読売新聞新潟支局 / UX 新潟テレビ 21 / 新潟総合テレビ / (財)新潟県女性財団

お問い合わせ

全国協同集会実行委員会 事務局

〒950-2026 新潟市西区小針南台3-16 ささえあい生協内
TEL 025-378-6806 / FAX 025-230-6680
ホームページ <http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2008/>

●取り扱い団体

いま「協同」を拓く in 新潟 2008全国集会

グローバル化の中で格差拡大や貧困問題、生活物資の高騰など、将来への不安が広がる日本社会。いま、社会連帯と市民の手による新しい公共づくりが求められている。人間らしく生き、働き、暮らすことができる社会へ。地域資源を活かした仕事おこし、多世代が交流できる居場所づくり、誰もがいきいき働ける地域へ。協同集会は、それらの取り組みを交流しあい、学びあい、みんなで力を合わせて一層大きな流れに飛躍させるステップとしたい。農と命を育み産業・文化が豊かな新潟と、日本社会の未来に向けて。

生命と環境を育む、希望ある未来の創造へ

～「協同」と「連帯」の力で拓く、豊かな公共と地域・労働の再生～

日時/場所 **11月22日(土)**午後12:30～
新潟市体育館

全体集会

23日(日)～午後3:00
新潟青陵大学

14のテーマ別セッション

基調講演

「地域の力」著者
コモンズ代表・ジャーナリスト

大江正章氏

「地域の力

～食・農・まちづくり～



パネリスト参加

新潟市長

篠田 昭氏

「ともに生きる
地域と絆の再生」



いま協同を拓く
2008全国集会

in 新潟

いま「協同」を拓く2008全国集会in新潟 実行委員会

[略称：全国協同集会]

生命と環境を育む、希望ある未来の創造へ

～ 協同と連帯の力で豊かな公共と地域・労働の再生 ～

12:30 オープニング 新潟総踊り
13:05 基調講演
大江正章氏
「地域のカ〜食・農・まちづくり」

大江正章氏プロフィール
1957年 神奈川県生まれ
1980年 早稲田大学政治経済学部卒業、学陽書房入社
1996年 コモンズ創設
～現在 コモンズ代表、ジャーナリスト
主著:「地域のカ〜食・農・まちづくり」(岩波新書/2008年)
「農業という仕事〜食・農と環境を守る」(岩波ジュニア新書/2001年)
「公共を支える民〜市民主催の地方自治」(共著、コモンズ/2001年)

14:20 パネルディスカッション1
― 希望のある労働の創造 ―

- コーディネーター
笹森 清氏 (労働者福祉中央協議会・協同労働法制化市民会議会議長)
- パネラー
湯浅 誠氏 (反貧困ネットワーク事務局長)
松原 幸夫氏 (新潟大学社会連携研究センター教授)
嶋 桃代氏 (全国コミュニティ・ユニオン連合会会長)
田中 羊子氏 (ワーカーズコープ・センター事業団専務理事)

16:00 パネルディスカッション2
― ともに生きる地域と絆の再生 ―

- コーディネーター
永戸 祐三氏 (ワーカーズコープ・センター事業団理事長)
- パネラー
篠田 昭氏 (新潟市長)
福嶋 浩彦氏 (前我孫子市長)
大滝 聡氏 (NPO 都岐沙羅パートナーズセンター理事)
野澤 朗氏 (上越市健康福祉部部長)

17:30 終了
18:30 交流会
20:30 }

いま協同を拓く
2008全国集会

in新潟

セッション 2日目:11月23日(日) 9:30~15:00 開場 9:00

*パネラー等は変更になる場合があります

会場:新潟青陵大学

第1セッション 共生の文化を育む環境の創造

地球全体が、環境の危機から生命の危機を進行させています。人間の経済活動や生活様式のあり方が、この危機を克服する絶対的課題となった時代。人間自身の生存条件を豊かにすること、あらゆる生命が共生・共存する環境の創造に向かうために、人間のあり方、人間と人間の関係、そして人間と他の生命・環境の折り合いを、人間自身が創造していかねばなりません。協同・共生の文化を再生し、命を育む環境の創造へ向けた実践から、課題と可能性を探ります。

- コーディネーター: 五十嵐 實 (日本自然環境専門学校)
- コメントーター: 植田和弘 (京都大学大学院教授)
- パネラー: 宮垣 均 (豊岡市コウノトリ共生課)、三上 亨 (NPO グリーンエネルギー青森)、富田孝好 (ワーカーズコープ・センター事業団)

第2セッション 子育て家庭支援のまちづくり

父親、母親としての自尊感情を持つには、何が必要なのでしょう。子育て経験豊富な高齢者の力や様々な力が地域には眠っています。支援制度を含め、現代社会の厳しい子育て環境を地域はどう受け止めているのか。地域をどう巻き込み人を育てていくのかを多世代間交流の中で、シニア活動やボランティア活動を通して、会場の皆さんと一緒に考えていきます。

- 講演: 坪井秀和 (上越市健康福祉部子ども福祉課)
- パネラー: 大熊宏子 (パワフル・エイジング研究会)、中條美奈子 (NPO マミーズネット)、北山和代 (ワーカーズコープ・センター事業団)、新保まり子 (ドリームハウス、新潟大学学生)

第3セッション 尊厳ある人間らしい働き方と協同労働の可能性

派遣や請負など非正規労働者数が全体の3割を超え、労働の分断と、貧困・格差が社会的問題として浮上っています。一方、人たるに値する労働として出資・経営・労働が一体となった「協同労働」が目ざされ、その法制化が超党派の議員連盟の設立で現実的となりつつあります。人々が協同して働き、地域の再生を目指す事業を継続的に、協同労働の実践と可能性について話し合います。

- コーディネーター: 永戸祐三 (ワーカーズコープ・センター事業団)
- コメントーター: 宮崎隆志 (北海道大学教授)
- 報告: 江花和郎 (連合新潟)
- パネラー: 藤木千草 (ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン)、橋本典子 (ワーカーズコープ・センター事業団)、北川恭子 (豊能障害者労働センター)、渡辺みのり (五泉市直売所いすみの広場)
- 特別報告: 島村 博 (協同総合研究所)

第4セッション これからの高齢社会像 元気に世代を超えた地域福祉ネット、街づくり!

私たちの地域には健康で活気に満ちた、人生の達人としての高齢者がたくさんいます。支えたり支えられたりしながら、地域の活性化や健康福祉の街づくりを実現しませんか。これからの高齢社会・地域福祉ネットワークの課題を探ります。ファッションショーもあります。どうぞ期待!

- コーディネーター: 阿部はるえ (社会福祉士)
- コメントーター: 黒岩卓夫 (ささえあいコミュニティ生協新潟)
- パネラー: 華麗なるファッションショー (新潟もてなし倶楽部)、小越由美子 (NPO お笑い事業団ニイガタ)、堀池喜一郎 (NPO シニア SOHO 普及サロン)、上野謙一郎 (見附市健康福祉課いきいき健康係)、横尾三代子 (ごちゃまぜネット)、吉川 静 (NPO 地域たすけあいネットワーク)、神保桂子 (ささえ愛あわや)

第5セッション 豊かな公共を支え広げる市民自治

急速な規制緩和・構造改革の流れの中で社会や生活の基本的枠組みである「公共」分野が民営化の波にさらされています。公共を「市場化・営利化」するのではなく「市民化・社会化」し市民自治を広げる豊かな公共のあり方は何か。地域社会の再生を目指す取り組みを通して「新しい公共」の創造について考えます。

- コーディネーター: 福嶋浩彦 (前我孫子市長)
- コメントーター: 前山総一郎 (八戸大学教授)、大高研道 (聖学院大学准教授)
- パネラー: 矢野 学 (NPO 雪のふるさと安塚)、下村朋史 (ワーカーズコープ・センター事業団)、須賀貴子 (東京農工大学大学院修士課程)、川上伸一 (NPO 掘削再生まちづくり新潟)、辻勲健二 (安芸高田市川根振興協議会)

第6セッション 子どもたちの豊かな生活と生きる力を育む

若者のニート、ひきこもりや不登校の問題が依然広がっています。そういったことが広がる大きな背景として家庭、地域、学校の教育力の低下が言われています。国は今、子育て支援、若者支援などを盛んに展開しようとしていますが、未だに大きな成果は上がっていません。本セッションでは子どもたちの生きる力の向上に向け取り組んでいる市民、NPO、行政、協同組合などの実践をたき台に、今、どんな力が子どもたちに必要とされているのか、また、地域・家庭・学校の連携について市民がつくる豊かな放課後・地域とは何かについて深めています。

- コーディネーター: 藤田 徹 (ワーカーズコープ・センター事業団)
- 講演: 岸 祐司 (学校と地域の融合教育研究所・秋津コミュニティ)
- パネラー: ①子どもの貧困と向き合う児童館をめざして(ワーカーズコープ・センター事業団)、②障がいをもった子どもたちの豊かな放課後づくり (NPO りとるあい心:片桐公彦)、③限界集落の中で子どもに伝える「生きる力」(仮題) (NPO かみえち山里ファン倶楽部)、④市民との協同でつくる学校づくり

第7セッション 若者の仕事と未来

未来を担うべき若者が生きづらさを抱え、そのエネルギーが行き場を見失っている世の中に今こそ一石を投じます。若者支援の現場からの報告や、働くことがそのまま社会貢献につながるような「社会起業家」や「協同労働」の取り組みをヒントに、若者が希望の持てる社会について考えます。

- コーディネーター: 目黒雄介 (新潟NPO協会、三条地域若者サポートステーション)、山際紀秀 (ワーカーズコープ・センター事業団)
- 講演: 今 一生 (フリーライター&エディター)
- パネラー: 本多佳美 (NPO おおぞらボコレーション)、迫 一成 (ヒッコリースリートルーパーズ)、桐山三智子 (農業・食品生活塾)、鈴木真志 (若え者サポートネットにいがた)、滝沢藍子 (ワーカーズコープ・センター事業団)

第8セッション 障がい者の仕事おこしと協同労働の可能性

障がい者の就労問題は、今、大きな岐路に立っていると言えます。すなわち、従来通りの「福祉的就労」にとどまるのか、それとも「福祉の枠」を脱却して、新しい働き方を切り開くのかの分岐点です。本セッションでは福祉でもなく営利企業でもない第3の道=「社会的事業所・社会的協同組合」への道を探ります。

- コーディネーター: 広島幹也 (NPOCIL 新潟)
- コメントーター: 斎藤懸三 (NPO 共同連)
- 講演: 佐藤綾毅 (市民セクター政策機構)
- パネラー: 熊倉範雄 (新潟手をつなぐ育成会)、大湊睦夫 (新潟県障がい福祉課地域生活係)、中村宮子 (NPO 青りんごの会)、高橋比呂志 (ワーカーズコープ・センター事業団)、新居 良 (豊能障害者労働センター)、石澤利巴 (NPO ライフ)

第9セッション 新潟からはじまる 持続可能なまちづくりのネットワーク化

従来、福祉・環境・伝統文化・NPOへの支援など、多様な切り口で取り組まれていた「まちづくり」の市民活動の「ネットワーク化」を図ることで、「持続可能なまちづくり」の課題に挑みます。新潟各地のまちづくり活動を結び、交流・連携の契機づくりを図ります。

- コーディネーター: 大塚 肇 (ワーカーズコープ・センター事業団)
- コメントーター: 荒井一弘 (協同総合研究所会員、農協労運)
- 講演: 星島卓美 (通船川・栗ノ木川ルネッサンス)「川から学ぶ地域の絆 ~ふるさとの川づくり通船川~」
- パネラー: 秋山三枝子 (認定NPO くびき野NPOサポートセンター)、かみえち山里ファン倶楽部、他

第10セッション 結びつきと信頼が育てる 食・農・生活の人間的再生

①都市と農村の交流の実践(農協とNPO食農ネットささかみの活動を軸に)、②自然と共存する「マイベース酪農」の取り組み、③都市と農村の交流を通じた、共生の生き方へのアプローチ、④都市から農村へ。ふるさと帰郷、共生の社会づくり、⑤多様な生物相を育む豊かな農村環境・里山を守り育てる、消費者と生産者の協同、⑥次世代を育む食農教育の実践 以上、6つの切り口からの実践報告やパネルディスカッションを通じて、食と農の協同を軸とした人間的な生活と持続可能な共生の社会づくりを探ります。

- コーディネーター: 長崎清一 (新潟県総合生協)
- 報告: 田中政喜 (JAささかみ営農販売交流課)、森高哲夫 (マイベース酪農交流会)、関 広一 (前小千谷市長)、パレスシステム連合会より一名

第11セッション 地域を育てるため、「文化」は脈々と流れていく

今ある伝統文化、商人文化、郷土文化の中には、まだ支え合いの協同が残っています。そもそも協同の仕組み無しに「文化」は存続できませんでした。かつての協同に光を当てることで、昔の智慧を学び現代に活かします。私たちが真に創造していくべき「文化」とは何か?を会場全体の話し合いの中で、明らかにしていきます。

- コーディネーター: 清水隆太郎 (えにし屋)
- コメントーター: 小川弘幸 (NPO 文化現場)
- パネラー: 柴田光榮 (モアクリエイション)、油谷雅次 (AUD 創造研究所・一級建築士)、清水義春 (えにし屋)、新潟の「脈々と流れる文化」をつなぐ人々
- 報告: 演劇集団あおえんどうより一名、安田文子 (新潟ボランティアガイド仕掛け人)、えんで講・新潟しぐさメンバー

第12セッション 格差・貧困の克服と社会連帯

グローバル化と新自由主義は、著しい格差を生み貧困を拡大・深刻化させてきました。奴隷のような働かせ方がまかり通り、セーフティネットはボロボロにされ、生き続けることが脅かされる社会が出現しました。放置できないこの状況に世代・地域・分野を超えて生まれつつある新たな連帯を確認し広げていきます。

- 講演: 宇都宮健児 (弁護士、反貧困ネットワーク)
- パネラー: 中村 昇 (新潟県労働金庫)、[反貧困全国キャラバン 2008 新潟集会]実行委員会参加団体、等

第13セッション 震災後の検証 ~阪神淡路から中越 支えあいを考える~

阪神淡路大震災、そして中越大震災という、2つの災害現場で起きている「限界」を再検討し、それぞれ何を学びあうことができるのか、さらには都市部と中山間地で共通する「支えあい」とは何なのかを様々な視点から議論します。それらをくらし再建の道筋として全国へと発信する手掛かりとしていきます。

- コーディネーター: 松本 誠 (市民まちづくり研究所)
- コメントーター: 澤田雅浩 (長岡造形大学准教授)
- パネラー: 小千谷市・長岡市・神戸市の方々を予定

第14セッション 21世紀の協同組合運動の創造 ~生産をめざす協同組合運動~ (モンドラゴンの視察報告)

日本の協同組合法体系は個別方式のため、全ての分野での仕組みを取り入れたものになっていません。農業等の分野においては、高齢化・担い手不足で困難に拍車がかかっています。若者が参加し、地域資源を活用して生産・販売する持続可能な協同組合と、都市部・農村の活性化・再生について話し合います。

- コーディネーター: 岡安喜三郎 (協同総合研究所)
- コメントーター: 橋本吉広 (地域と協同の研究センター)、島田圭一郎 (前日本農業新聞社長)
- パネラー: 石塚美津夫 (元JA ささかみ)、山本一哲 (野浦トキの郷米生産組合)、岡元かつ子 (ワーカーズコープ・センター事業団)、大内文雄 (しらたかノラの会)、高橋和博 (新潟県総合生協)、岡 幸子 (JA 佐渡経営管理委員会女性組織)
- 報告: (モンドラゴン報告) 加納三千子 (福山市立短期大学教授)